

10月号

第452号

# いっしん

令和4年(2022年)

発行：金光教加治木教会 〒899-5213 鹿児島県始良市

加治木町朝日町130発行責任者：矢野文枝 TEL/FAX 0995-62-2895

Mアドレス hittobe.konkaji@gmail.com (HP)http://kajikikon.konjiki.jp/ 《HPの写真はカラーで見れます》

限りなき  
神の恵みに  
生かされる  
ことな忘れそ  
日毎夜毎に  
甘木親教会  
初代教会長  
安武松太郎師御款

立教163年／教祖様139年／教団独立122年／小倉教会布教137年／甘木親教会布教118年／  
加治木教会布教71年（令和5年2月26日、矢野政美大人25年祭・サダ子大刀自10年祭）



シロヒガンバナ

加治木教会

## 秋季霊祭 仕えられる

(秋季霊祭、教会長教話 要旨)

今日の秋季霊祭は、親先祖の霊様に、御礼申し、お慰び申し、お慰め申し上げるお祭りです。

私もは、親と言いましても、両親と祖父母、中には曾お祖父さん曾お祖母さんに会ったことがあるという方もあるかもしれませんが、そのくらいの親先祖のことしか知らない人が多いと思います。

しかし、遠い昔のご先祖様も、子孫のことを思われてご苦労を越えて来られた親であります。

その親心というものはいったいどのようなものでしょうか。

甘木親教会の初代親先生は、その親心について「子を失って知ることができた」ということを伝えておられます。

それは、大正三年に、末子で四男の登氏を授かられています。今日は、そのお子様のことについて少し

秋季霊祭…P1～4  
少年少女会のお知らせ…P5(下段)

矢野政美大人遺稿…P5～6  
教会行事…P8

お話して、霊様方の親心ということに触れてみたいと思います。  
政美親先生が大正五年生まれですから、政美親先生より二才年上であられたようです。

▼子を失って知る親の恩

しかし、この登氏は、二歳になられた頃に何となく元気がなくなり時々発熱して、しだいに衰弱されますので、お守りをお願いしていた娘さんに聞かれますと「さかさに落としましたことがある」とか「姉の家でやすませているとき、上の棚から枕屏風が落ちてきて頭に当たり、気絶したこともある」ということだったのです。

初代親先生は「・・・今亡くなりますと、両親も兄弟の顔もわかりません。せめて六つ七つまで生かしていただければ、多少世の中のこともわかります。それだけでも、生まれた甲斐があったようなものでございませう。」と、御祈念され、六歳まで成長されましたが、にわかには発熱されて急逝されておられます。

初代親先生は、へんに、神様が『汝

がそれほどに悲しむならば条件つきで助けてやるう』とおっしゃるのであれば、どんな条件でもお受けして助けてほしいと思った。一生土間に寝て暮らしてもよい。』曰く「一食で辛抱しとおすなら助けてやるう』とおっしゃるのなら、一食でおしてよい。『ほろを着て満足するなら助けてやるう』とおっしゃるのなら、どんなほろをまとうてもよい」とまでの思いでおられたそうです。助かられなかったそうです。



また、この時「自分は、子として多少の孝行はしてきているつもりであったが、わが子を失ってみて、本当の親の心がわかった。親の心がかようなものとすれば、自分が子としてきたことは孝行でもなんでもなかった。父も、母も、さぞものたらぬことであつたらう・・・自分は、子として多少の孝行はしてきているつもりであったが、わが子を失ってみて、本当の親の心がわかった。親の心がかようなものとすれば、自分が子としてきたことは孝行でもなんでもなかった。父も、母も、さぞものたらぬことであつたらう。」とお思いになられたとのこと。

このようなご経験をなされたからこそ、後々、甘木親教会では、たくさんの方が、真実に助かる御用ができて行かれることにもなったのです。真実の親心というものはそのようなものでありましよう。

そのような親心は、私どもも、この世に生まれてくる時に、親神様から「分け霊(みたま)を授かり、両親の間に産ましめられたのであることを教祖様も、み教え下されてあります。

▼どんな動物にも親心はある

親神様から与えられた「分け霊」、いわば「親心」は、人間だけでなくどんな動物も虫けらも、頂いているのですが、人間だけはその「本心の珠(たま)」を磨いて「分け霊」を尊いものに育てて行くことができます。

他の動物、犬や猫、鳥、けだもの、昆虫までも、子孫を育て守るためには、命がけです。

いつかテレビであっていましたが、火事で燃えている家から親猫が小さな子猫をくわえて出てきて、またその家に入り、また口にくわえて出てきて、何匹かの子猫を助け出したときには、親猫の身体の毛はかなりの部分が焼け焦げていたということでした。猫も、子のためには命がけで守り育てます。

しかし、その子猫が親になると、多くの場合、野良猫や野生の動物においては、親も生存競争の競争相手となり、なわばりを争い敵対する関係になってしまい、恩返しや親孝行をすることができません。それは、どうしてなのでしょうか。



▼万物の霊長はいかに生くべきか

しかし、人間には、言葉や文字で思いやできごとを伝える能力がありますので、お世話になったことを知りご恩に報いることができるのです。

自分の記憶にない、赤ちゃんの時の幼い時に、どんなに親が一生懸命苦労を苦労と思わず育ててくれたかをまた、お祖父ちゃんお祖母ちゃんが力を尽くしてくれたかなどを家族や身の周りの人が聞かせてくれたり、伝えてくれたりするからです。

だからこそ、人間は年者いて働けなくなり弱るようなことがあっても、その「ご恩」に報いる生き方が尊い生き方だということを知っているから、年寄りを大切にするので。

万物の霊長である人間だけが恩を知って恩に報いる生き方を深め「分け霊」を成長させることができます。

ご先祖様はごなたも、そのような親心をもって子孫のためにご苦労を乗り越えてこられたのですから、知らない遠いご先祖様にも、春秋のお彼岸に仕えられる「霊祭」に参拝してお墓参りをして、ご先祖の霊様

方のご功績に対し、御礼申し、お徳  
び申し、お慰め申し上げてはとうで  
しょうか。

▼万物の霊長、尊い生き方を

甘木親教会の二代親先生は、朝の  
ご挨拶の時間に、たまに『鳩に三枝  
の礼あり鳥に反哺の孝あり』『恩を知  
らざるは禽獣にも劣る』という言葉  
があるが知っておるか」と尋ねられ  
ることがありました。

戦後生まれの私は、聞いたことも  
ありませんでしたが、その意味合い  
について、

「鳩は親鳩を敬い、親鳩の三つ下の  
枝にしか留まらない、鳥は年老いて  
弱った親鳥のところに餌を運んで食  
べさせるということで、実際はそん  
なことはなくとも、昔の人にはそう  
見えていたのだろうが、鳥でさえそ  
のようなことができ、人間にそのよ  
うな恩に報いることができないう  
は恥すべきことだ、よく心に刻んで  
おくように。」

とお話しされたこともありました。

親は、子のことを思っている時はや  
かましいことを言いき、嫌われる

ようなことを押し付けもすることが  
あります。



そのような印象を親に対し持つ人  
もないではありません。私も、その  
ような尊い親心が見えない不幸者で  
ありました……。

しかし、その向こうにある真実な  
親心とは、皆生まれる時に親神様か  
ら頂いた、命がけで子を産み守り育  
てる尊い親心そのものの「分け霊」  
なのです。

どのような親にも尊い親心という  
「分け霊」があつて、その親心によ  
って子どもは育てられてきたのです  
から、年に二度の「秋季霊祭」「春季  
霊祭」くらいは、霊祭に参拝しお臺  
参りに心がけたいものであります。

(教会長)



前加治木教会長

# 矢野政美大人

## 遺稿

矢野政美大人二十五年祭を来年(令和五年)二月二十六日にお伝えさせて頂いていただくにあたり、矢野政美大人の遺稿を掲載し、改めて読み直し、信心姿勢を頂き直し、お供びさせて頂いたこととするものであります。

「我子の可愛さを知りて・・・」

昭和五十一年「しんあい」(甘木親教会)

七月四日より



矢野政美大人

Kさんは日参の中に、家業のコンクリート二次製品事業の上に万事の御繰合せを願われ、中でもその資金繰りについて御取次を頂きつつ、信

心をもって取組まれ、現在の不況下にあつて立ちゆくおかげを頂いておられますが、昨年十八年ぶりに授けられた次女のTちゃんを、それこそ目の中に入れても痛くない程の思いで可愛がっておられる姿は、よそ目にも和やかな思いがさせられます。

ところがそのTちゃんが、ふとした風邪から毎日毎日微熱が続きました、わざわざ鹿児島市内の権威ある医師にかかって治療してありましたが、汗をじっくりにかくと一時は熱が下がりますが、また熱が出るという具合で、約一ヶ月余りもそんな状態が続きます。

御取次を頂かれる度に、「我子の可愛さを知りて神の氏子を守り下さることを悟れよ」ということについていろいろと具体例を話させて頂くのですが、どうしても心配が先に立って御広前では素直に聞いておられるも、一旦家に帰って、微熱が続き食欲もなく次第にやせ細って元氣なくぐったりとしておる我子の姿を見れば、Kさんの心はまだ不安な気持ちでどうすることもできない状態になってくるのでした。

なお微熱がどうしても下がらないので、近くの内科で診察を受けたところ、少し腎臓炎の傾向があるとのこと、御取次を頂きつつその手当てをさせて頂いた、日々快方に向つておるやさきに、また熱発しまして風疹にかかっておることがわかりました。

それもおかげ蒙られて、日に日に快方に向つてあり、どうやら明るい表情になつてつづありますが、このことにつきまして、「可愛い幼児が風邪がもとで次々と他の病を併発してグツタリとなつておることは、母親としてたまらない思いがされたでしょう。ところが御取次を頂きつつ治療させて頂いた、次第に快方に向つておることは有り難いことでもあります、信心の上から言えば一ヶ月余りも幼児の微熱が続き食欲もなくやせていったのが、まだすっきりはないが快方に向つておるというだけでは決して何一つプラスになつたとはいえません。あなたや家族の方達が、一ヶ月余りも幼児の病気で心配もされ、治療費もいり、Tちゃんも疲れ切つて苦しかったと思いま

す。もっと元気で風邪もひかす熱も出さずにおってくれた方が、どれほどおかげであったかも知れません。甘木の恩師は、『信心する者は道で転んでも石ころでもつかんで起き上がる気持を持っておかねばならない』とよく仰せになってあったが、要はこの度の丁ちゃん病気によってお母さんであるあなたの信心がどう展開し、どう変って来たかが問題ですよ。』

という意味のことを話させて頂きましたが、とかく私共は根本的なところに気付かずに枝葉のところで一喜一憂していることがあまりにも多いのではないでしょうか。

神様は我子の病気という親にとっては重大なできごとを通して、信心へ信心へと導いてくだされているように思えてなりません。信心には体験ということが大切だと思われまます。教祖様が満十五年間に七墓も築かれ、過ぎ来し方を省られて、「天地金乃神へのご無礼を知らず難渋致し」とご述懐され、ご先代が明治二十四年初めて小倉の御広前にご参拝になり、桂大人から御教えを受け、二十

二年間の大地の御恩徳を知らなかったことの反省・大展開をされ、現親先生が親奥様の御国替えという悲しいできごとを通して、ご信心が大きく進展になられてありますお姿を見せていただきますとき、それぞれに与えられた難儀を信心でしっかりと受け止めさせていただき、世界万民の真の助かりを願い給う、御神願成就のお役の一端にも立たせていただかねばと、私自身、しみじみと願わせていただいております。

鹿児島県 加治木教会長  
矢野 政美



少年少女会行事で、以前に作った小鳥の巣箱

しょうねんしょうじょかいぎょうじ いぜん つく こどり すばこ



R4..9.21.

巣箱をとりはずしなかにきれいにしまた来年も!



R4..5.21.

スズメらしき小鳥がヒナを育てていました。

じゅうがつ

10月の

少年少女会で小鳥の巣箱作りチャレンジしよう!

※シジュウガラ・セキレイなども、巣づくりすることがあります。来年はみんなでたくさん・・・!



R4..3.15.



巣箱をとりつけ

(仙寿の里温泉にて)

小鳥の巣箱に、入居のあとあり！  
小鳥がヒナを育てていました。

ご霊神様のおまじり

十月

平地セイ之霊神	平成14・10・01
矢野サダ子大刀自之霊神	平成24・10・03
春山陽子之霊神	昭和56・10・06
中村正行大人之霊神	平成23・10・06
大木千鶴子之霊神	平成16・10・07
上田喜四郎之霊神	平成03・10・08
中野綾子之霊神	平成04・10・08
瀬戸淳一之霊神	平成23・10・10
庄村徳二之霊神	平成02・10・13
前田シヅ之霊神	平成26・10・13
有園敏雄之霊神	平成27・10・14
瀬戸秀雄之霊神	昭和50・10・14
荒木 恒之霊神	令和01・10・16
前田照子之霊神	大正14・10・17
内村 健之霊神	昭和58・10・17
中野満行之霊神	平成12・10・18
岡山健一之霊神	平成29・10・21
春山住晴之霊神	昭和47・10・19
矢野仁吉郎之霊神	昭和30・10・26
福元フサ子之霊神	平成15・10・29
市来政利之霊神	平成30・10・30



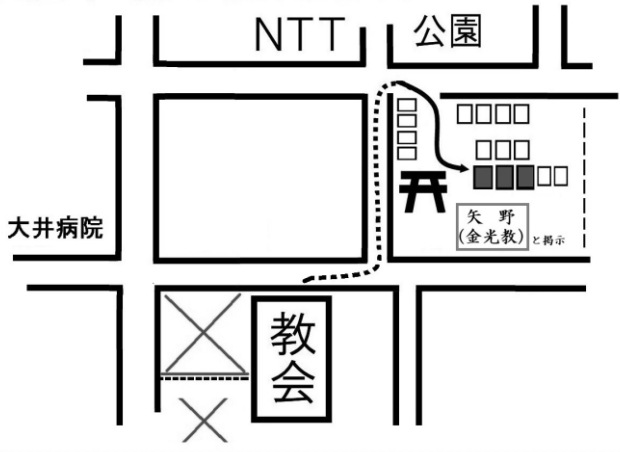
「先祖のご霊神様の、現世・幽冥(かくりよ)でのお働きあつての今日の私たちであります。立日の月には、故人を偲び、玉串を奉てんしてお礼を申し上げます。」

教会では、十日の月例祭で、霊前での玉串の奉てんを準備しております。

感 詠 (教会長)

星空が美しきまじ涼しさを  
運びきたれる天地尊し  
夏の日々花付け続け楽しませ  
続けてくれる百日草  
若き頃当たり前しか思わざる  
湧き出る力今礼びおり  
この命この健康も恵まれて  
おること礼び心安まり  
お盆前切り戻したる鉢ダリア  
再び花を初秋につけぬ  
あめつち  
天地の不思議と以外あらわせぬ  
夏が秋へと変わりゆく朝  
台風の過ぎたる朝の涼しさを  
これほどにかと変わり驚き  
栗や柿秋のたよりのみ恵みが  
ならぶ食卓尊とからずや

駐車場のお知らせ



あしあと

加治木教会行事記録

- 9月
- 1 (木) ●報徳月例祭 10時半
  - 9 (金) 清掃御用 10時
  - 10 (土) ●月例祭 (生神堂光 併せ) 10時半  
(水) 15 (木) (大神様 下置)
  - 21 (水) 甘木親教会御用 (教会長) 10時  
(水) 清掃御用 10時
  - 22 (木) ●月例祭 (天地堂 乃神様)
  - 23 (祝) ●秋季霊祭10時半
  - 28 (水) 西鹿児島教会 告別式 (教会長 平山勝教師)

十月十日(祝) 午前十時半  
月例祭に併せて

立教記念祭 並びに

新穀感謝祭 奉仕

※祭典後、教話。

※お直会はお持ち帰りです。(新型コロナウイルス  
感染拡大防止のため)

十一月十三日(日) 午前十一時

加治木教会 前日清掃御用

生神金光大神御大祭 奉仕

※祭典後、教話。

大口教会長

講師 安武秀信先生

※お直会はお持ち帰りです。(新型コロナウイルス  
感染拡大防止のため)

十月二十八日～十一月八日

御大祭奉迎 信行期間

一祈念・研修 午前五時十五分

午前十時

教会行事

10月

1(土)～2(日)

御本部生神  
金光大神 御大祭参拝

3(月) 清掃御用 10時

4(火) ●報徳月例祭 10時半

9(日) 清掃御用 10時

10(祝) ●月例祭生神金光  
大神様 併せて 10時半  
月例重祭

併せて 立教記念祭・新穀感謝祭

16(日) 人吉教会 御大祭 11時

21(金) 清掃御用 10時

22(土) ●月例祭天地堂  
乃神様 共励会 13時半

23(日) ◆少年少女会小鳥の巣作り  
ハイキング

30(日) 上荒田教会 70年記念祭

31(月) 清掃御用 10時

《記念祭・御大祭》(予定)

☆10月16日(日) 11時

人吉教会 生神金光大神御大祭

☆10月30日(日) 11時

上荒田教会 布教95年記念大祭

☆11月20日(日) 11時

志布志教会 布教95年記念大祭

☆11月6日(日) 12時

西鹿児島会 125年記念大祭 11時

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、  
内々でお伝えされる場合があります。

11月

1(火) ●報徳月例祭 10時半

6(日) 西鹿児島教会 125年記念祭

// 多良木教会 御大祭

9(金) 清掃御用 10時

10(木) ●月例祭生神金光  
大神様 10時半

12(土) 清掃御用 10時

13(日) ●加治木教会 御大祭 11時

20(日) 志布志教会 70年記念祭

22(火) ●月例祭天地堂  
乃神様 共励会 13時半

25(金) 連合会執行部会鹿児島  
教会 10時半

30(水) 清掃御用 10時

「改まりの願い」(加治木教会)

自己中心の信心から

親神様の御立場に立った信心に、

親神様を使う信心から

親神様にお喜びいただき

ご安心いただく信心に、

おかげを信じる信心から

親神様・ご神慮を信じる信心に、

改まらせていただく。